

講義名	公務員特別演習（公安職）			授業形態	
担当教員	村上 友章 / 河辺 有希生	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
			ナンバリング・コード	PSC340	

### 主題と概要

【目的】  
公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、1 年後期（演習 ）から 4 年前期（演習 ）まで一貫したプログラムである。本演習はその内の公務員特別演習（公安職コース）である（3 年からは行政職コースと分かれているので注意してください）。  
「究極のサービス生」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない、また知識をただ暗記し、受者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない、つまり公務員試験には、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている（まさに本学が掲げる「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。

【内容および方法】  
本講義は公務員の中でも特に公安職を目指す学生に提供されるものである。その上で、本講義では「数的処理」と「公安職研究」を行う。「公安職研究」では、以下の方法で授業を行う。  
・グループ、もしくは個人で興味のある公安職の現状を整理し、抱える問題を調査・分析する。  
・これらの分析を基に、解決策を考察し、発表・議論を行う。  
・以上の作業に当たっては、フィールドワーク（現地調査）も実施する予定である。

### 到達目標

- ・地域、社会課題に対して公安職の視点からの課題や解決策を考える姿勢を身につける。
- ・「考える学習型」授業を通じて、主体的に考え、文書作成、プレゼンテーション能力を養うことができる。
- ・公務員に必要な基礎能力（読む、書く、協調して創る）をつける。

### 提出課題

- 1 授業時に使用するワークシート
- 2 社会・地域課題のワークシート
- 3 教養課題のワークシート
- 4 社会・地域課題のテーマに関する論作文

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出されたワークシート返却時に担当教員によりフィードバックを行う。

### 評価の基準

- ・講義でのテーマ課題やディスカッションでの発言：約 20 %
  - ・提出されたワークシート等の課題：約 50 %
  - ・評価レポート：約 30 %
- 合計 100 点により評価する。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・教科書は【警察官志望者対象】【消防官志望者対象】に分かれている。該当する方を準備すること。
- ・本クラスは、実際に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。理由なく落選・欠席しないこと。
- ・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を量ねる必要があることは言うまでもない。
- ・学内の公務員試験対策講座（3 年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校の受講（ダブルスクール）を強くお勧めする。
- ・「基礎技能 2」以外の関連する正課授業も、開校・履修することを強く推奨する。
- （共通）法学入門、経済学入門、地域まちづくり概論、防災まちづくり論、業界研究（官公庁）（公安職）基礎技能 A（数的処理）

### 教科書

. 使用しない。

### 参考図書

. 公務員試験の教科書「論文・作文本」 令和 7 年度受験。	ゆうし	キャリアート合同会社	1980	9784911062050

### その他

- ・資料は授業中あるいは Ryuka Portal の講義連絡にて適宜配布し、参考文献は個人のテーマに合わせて授業中に紹介する。

### 授業計画

- 1 ガイダンス、「仕事、職業とキャリアプラン」・基礎学力の確認（40 分）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 公務員となり働くこと、その後のキャリアプランについて考える
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 授業での内容をうけ、公務員として働くことの意義について自分の言葉でまとめる
- 2 論作文（論作文とは、書き方）・教養演習  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 過去の公務員試験の論作文のテーマについて調べる
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、論作文の目的、書き方についてまとめる
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 独自の教養試験の問題集で事前に指示があった項目の見直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 独自の教養試験の問題集で事前に指示があった項目の見直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 3 実務者講義（警察官）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 実務者（公安職）の仕事、職業等について調べる
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義の中で知った職種や仕事の内容、職業等について、自分の言葉で文章化する
- 4 実務者講義（消防官）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 過去の公務員試験の面接の質問事項について調べる
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、面接についての内容を復習し、質問内容に自分の言葉で応えることができるようにまとめる
- 5 論作文（社会・地域課題（公安）） 読解文、論作文・ディスカッション・教養演習  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 独自の教養試験の問題集で事前に指示があった項目の見直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 6 論作文（社会・地域課題（公安）） 読解文、論作文・ディスカッション・教養演習  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 独自の教養試験の問題集で事前に指示があった項目の見直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 7 実務者講義（消防官）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 実務者（公安職）の仕事、職業等について調べる
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義の中で知った職種や仕事の内容、職業等について、自分の言葉で文章化する
- 8 SPI（ローカカデミー）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 指示された教養試験（SPI）の範囲の問題集で直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義で学習項目を解けるまで復習し、さらに演習問題を解く
- 9 SPI（ローカカデミー）  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 指示された教養試験（SPI）の範囲の問題集で直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義で学習項目を解けるまで復習し、さらに演習問題を解く
- 10 論作文（社会・地域課題（公安）） 読解文、論作文・ディスカッション・教養演習  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ 独自の教養試験の問題集で事前に指示があった項目の見直しをする
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 11 評価課題+論作文  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ これまでの学習内容を整理し、理解を深めておく
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 今回できなかった、理解が足らなかった項目について再度復習しておく
- 12 評価課題+論作文  
  - ＜ 予習 120 分 ＞ これまでの授業内容を振り返り、課題を整理する
  - ＜ 復習 120 分 ＞ 目指す公務員（公安職）の期待される職業を理解し、自分の言葉で表現できるようにする

講師の都合により、計画が変更になることもある。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	○ カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。  
【派遣科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】  
「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材  
知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材  
創造力 新しい視点と豊かな発想を持った人材  
自主・自立の精神を持った人材  
仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材  
「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

### 双方向授業の実施及び ICT の活用に関する記述

演習形式の授業である。学生はパワーポイントを作成、あるいはレポートを提出し、教員や他の受講生はそれについてコメントを行う。

### 実務経験の有無及び活用

村上 友章「実務経験なし」  
河辺 有希生「実務経験あり」：高等学校教員（数学・進路指導） 教養（数的分野）、進路・面接指導について活用

### 備考